

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	事業者ワークライフバランス推進応援事業	会計	一般会計	事業No.	159	施策順No.	37-005	
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-8-11-9			
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	子育て支援課			
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	22	終了	24

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市民の勤務する事業所						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
					370	370		
意図	市内事業者が従業員のワークライフバランス(仕事と家庭生活調和)に配慮することで、母親の子育ての孤立化や行き詰まりが防止され、親が共同育児体験の中から家庭養育力が向上する。							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	モデル事業に取り組む事業所数(累積)				2	2	3	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	平成22年度から事業所におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、事業所へワークライフバランスコンサルタントを派遣した。また、事業所や地域でお父さんネットワークを広げられるよう「お父さん応援プログラム」を実施した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>新しくつくプラン後期計画対象事業 飯田市次世代育成行動計画の最重要課題である、「親の育児力向上」と「子育ての行き詰まり防止」対策事業。事業者の育児支援が、1従業員の家庭生活を安定させ、企業活動の効率化と優良な従業員の確保につながることへの理解、2国等の子育て支援施策の内容の理解などを目的とした研修会の講師を派遣する。 ①経営者向けセミナーの開催②従業員(父親)向けセミナーの開催③ワークライフアドバイザー養成講座の開催</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 企業、従業員向けセミナーの開催 2 モデル事業所によるワークライフバランスの実践 3 市民を対象にしたワークライフバランスアドバイザー養成講座の開催</p>	<p>1 セミナー開催回数 2 モデル事業所 3 父親支援ファミリーテーター養成講座及びお父さん応援プログラム実施</p>	<p>1 3回 2 2社 3 3回</p>
23年度実施計画	<p>1 企業、従業員向けセミナーの開催 2 モデル事業所によるワークライフバランスの実践</p>	<p>1 セミナー開催回数 2 モデル事業所(新規)</p>	<p>1 1回 2 1社</p>

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)安心子ども基金補助金(10/10)
	国庫支出金					
	県支出金		1,970	1,589	2,236	
	起債					
	その他					
一般財源		0	270	0		
計(A)		1,970	1,859	2,236		
正規職員所要時間			40			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			143			
トータルコスト A+B			2,002			

4 事業に対する市民や議会の意見

次世代育成支援飯田市行動計画で企業の子育て支援の推進を進めるとされている。
飯田市議会でも、企業の子育て支援や父親の子育て支援についての具体的方策が求められている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	子どもを産み育てやすい環境の充実	施策の成果指標又はムトス指標	子育てしやすいまちだと感じている人の割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	平成22年度から事業所におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、事業所へワークライフバランスコンサルタントを派遣した。また、事業所や地域でお父さんネットワークを広げられるよう「お父さん応援プログラム」を実施した。		
	後期に向けた課題	安心子ども基金による補助事業があったため、子育て支援のモデル事業として実施しているが、本年度でこの事業が終了する予定である。平成24年度以降は、少子高齢社会を迎える事業所の人材確保という産業振興や、ワークライフバランスという男女共同参画社会実現の観点から、県及び市の所管の部署で事業化を検討してもらう必要があると考える。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	平成22年度から事業所におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、事業所へワークライフバランスコンサルタントを派遣した。また、事業所や地域でお父さんネットワークを広げられるよう「お父さん応援プログラム」を実施した。		
	後期に向けた課題	安心子ども基金による補助事業があったため、子育て支援のモデル事業として実施しているが、本年度でこの事業が終了する予定である。平成24年度以降は、少子高齢社会を迎える事業所の人材確保という産業振興や、ワークライフバランスという男女共同参画社会実現の観点から、県及び市の所管の部署で事業化継続を検討してもらう必要があると考える。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	安心子ども基金補助金(県10/10)を活用した。		
	後期に向けた課題	補助事業が終了した後、一般財源で継続できるか否かの判断が求められる。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	事業所の経営が厳しい状況下であること、先駆的に取り組む事業であるためモデル事業にとってもリスクがあることなどを考えると、当面市が経費を市が負担しないと取り組めない事業である。		
	後期に向けた課題	事業所が自主的に取り組んでもらえる環境をつくるため、補助制度創設の検討が必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	県、ながの子ども子育て応援県民会議及び構成員である経済団体等へ働きかけ、モデル事業所の推薦・シンポジウム野共同開催などの取り組みを進めてきた。また、庁内においては男女共同参画課、産業振興支援課とともに、事業を行ってきたところである。		
	後期に向けた課題	安心子ども基金による補助事業があったため、子育て支援のモデル事業として実施しているが、本年度でこの事業が終了する予定である。平成24年度以降は、少子高齢社会を迎える事業所の人材確保という産業振興や、ワークライフバランスという男女共同参画社会実現の観点から、県及び市の所管の部署で事業化継続を検討してもらう必要があると考える。		
全体を通じて	4年間の振り返り	平成22年度から事業所におけるワーク・ライフ・バランスを推進するため、事業所へワークライフバランスコンサルタントを派遣した。また、事業所や地域でお父さんネットワークを広げられるよう「お父さん応援プログラム」を実施した。		
	後期に向けた課題	安心子ども基金による補助事業があったため、子育て支援のモデル事業として実施しているが、本年度でこの事業が終了する予定である。平成24年度以降は、少子高齢社会を迎える事業所の人材確保という産業振興や、ワークライフバランスという男女共同参画社会実現の観点から、県及び市の所管の部署で事業化を検討してもらう必要があると考える。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	--	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--